

- 目 次 1 JICA 事業紹介 ①
 - 2 JICA 事業紹介 ②
 - 3 山梨県民活躍 MAP
 - 4 JICA 海外協力隊 山本明莉さん(2016年度3次隊/エチオピア/服飾)
 - 5 JICA 海外協力隊 佐野太一さん(2017年度 1 次隊 / エチオピア / 卓球)
 - 6 JICA 海外協力隊 丹澤一葉さん(2017年度 3 次隊 / モザンビーク / コミュニティ開発)
 - 7 JICA 海外協力隊 山本晶子さん(2017年度 4 次隊 / ネパール /PC インストラクター)
 - 8 民間連携 株式会社桑郷
 - 9 民間連携 鈴健興業株式会社
 - 10 草の根技術協力 山梨県富士山科学研究所
 - 11 開発教育 教師海外研修
 - 12 SDGs ネットワークやまなし 八ヶ岳 SDGs スクール
 - 13 公益財団法人 キープ協会
 - 14 JICA 山梨デスク



JICA Elt?

世界で活躍しています。

国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency) のことで、日本の政府開発援助 (ODA) を実施する機関として、開発途上国への国際協力を行っています。 山梨県でもたくさんの人たちが JICA と協力しながら



技術協力

開発途上国の課題解決能力と主体性の向上を促進するため、専門家の派遣、必要な機材の供与、とを受け入れなどの研修受け入れな発済・社会の発育成、研算な人材育成、制度構築に協力する取り組みです。



有償資金協力

低利で長期の緩やかな条件で資金を貸し付けるとにより、開発途上国の経路に寄与することをこれをした。資金協力のに自なとなるをできるためのインフラ整備(の路、発電所、上下水道を送います。となどが例として挙げられます。



無償資金協力

開発途上国に資金を贈与し、経済社会開発のために必要な施設を整備したり、資機材を調達する協力とといます。病院の整治の建設、給水施設の整備、の整備などが例として挙げられます。



国際緊急援助

開発途上国で起こる地震、 津波、洪水などの自然災害 と、人為的災害のうち紛争 に起因しない災害を対象 とし、人的、物的、資金援助 を災害の規模や実施して ニーズに応じて実施して います。

人的支援の枠組みで、国際 緊急援助隊の派遣を行い ます。



市民参加協力

開発途上国の多様なニーズに応えていくために、 JICAは市民の皆様の国際協力活動への参加を連携し、さまず。草の根技術事業、ボランティア育会を総称して「市民参加協力事業」と呼びます。



写真提供: JICA



山梨県内の様々な団体・個人が、JICA を通して国際協力を 実施しています。今回は、そんな県内の方々が携わっている JICA 事業についてご紹介します。山梨県と国際協力には どんな関係があるのか、皆さんも一緒に考えてみましょう!



JICA海外協力隊とは?

自分の持っている知識・ 技術・経験などを生かし、 開発途上国で現地の人と 共に活動する事業です。活 動分野は保健衛生,教育文 化、スポーツなど多岐にわ たります。原則2年間の 派遣期間ですが、1か月か ら参加できる短期制度も あります。



草の根技術協力とは?

日本の NGO、大学、地方自 治体及び公益財団法人等 の団体が、これまでに培っ てきた経験や技術を生か し、JICA と共同して途上 国への協力を実施する事 業です。開発途上国の地域 住民の経済・社会の開発 または復興に寄与するこ とを目的としています。



民間連携とは?

JICAと民間企業が協力 し、民間企業の持つ製品や 技術を生かして開発途上 国の課題解決に取り組む 事業です。JICA の持つ途 上国政府とのネットワー クや信頼関係、途上国事業 のノウハウを活用し、海外 展開をご検討される日本 企業の皆様を応援します。



教師海外研修とは?

2週間の海外研修を通し て、開発途上国における国 際協力の現場を実際に体 感するプログラムです。教 員の皆さんを対象として おり、この経験をそれぞれ の教育現場で還元してい ただくことを目的として 行っています。



SDGsとは?

2015年9月に国連サミッ トで採択された「持続能 な開発目標(Sustainable Development Goals)」の ことで、2030年までに世 界全体で達成しようと掲 げられた目標です。17の 目標と、169 のターゲット で構成されています。





世界にはばたく山梨県 ~山梨県民が活躍している世界 MAP ~







名 前 山本明莉

出 身 北杜市

隊 次 2016年度3次隊

派遣国 エチオピア連邦民主共和国

職 種 服飾

配属先 メケレ服飾専門学校 好きな食べ物 インジェラ

インシェン (穀物をクレープ状に焼いた主食)

活動内容

現地の職業訓練校で、生徒や先生に製図・縫製技術を教えていました。先生達に授業の改善点や新しい取り組みを提案し、ファッショーも開催しました。また配属先以外の学校や孤児院でもセミナーを実施しました。



配属先での授業中の様子

コメント

エチオピアはアフリカで唯一、植民地化されたことがないため、現在も独自の文化が色濃く残されています。アフリカといえば、カラフルな民族衣装のイメージですが、私の任地の民族衣装は全身真っ白で髪型も特徴的です。お祭りやイベントの度に、街が真っ白な衣装でにぎわうのは、とても素敵な光景でした。



真っ白な民族衣装

配属先の先生たちと

My SDGs

5. ジェンダー平等を実現しよう

世界男女平等ランキング*で日本が 121 位なのに対し、エチオピアは 82 位と最も改善された国の一つに挙げられています。私の配属先でも重要な

ポジションに女性は多く在籍し、性別に関係なく目上の人を敬う人々の姿が印象的でした。



※世界男女平等ランキング (The Global Gender Gap Index 2020 rankings) より





名 前 佐野太一

出 身 北杜市

隊 次 2017年度1次隊

派遣国 エチオピア連邦民主共和国

職 種 卓球

配属先 エチオピアンユース スポーツアカデミー

好きな食べ物 ティブス (エチオピア風焼肉) インジェラ (穀物をクレープ状に焼いた主食)

活動内容

国立のスポーツ学校で、ジュニア選手(15~17歳)に卓球の指導をしていました。また地域の卓球クラブや小学校で、子どもたちに卓球を教えたり、初心者向けの卓球の教科書を配布、作成したりしました。



地元の選手に卓球を指導する様子

コメント

指導をする卓球の選手たちと何度も試合に出場しましたが、特に印象に残っているのが、片道約8時間かけ、泊まりがけで大会に参加した時のこと。みんなで同じ車に揺られ、同じ食堂でご飯を食べ、同じホテルに泊まって過ごしました。ただ卓球のコーチをするだけでなく、いろんな話ができた濃い時間となりました。



遠征に行く車内の様子



地域の小学校にて

My SDGs

3. すべての人に健康と福祉を

「自分が好きなスポーツを選んで、そのスポーツを 楽しむこと」、それは必ずしも当たり前ではありま

せん。より多くの方々に様々なスポーツを楽しむ機会をつくることも「国際協力」の一つなのです。







丹澤一葉

甲府市

次 2017 年度 3 次隊

派遣国 モザンビーク共和国

コミュニティ開発

配属先 ジャンガモ郡経済活動事務所

好きな食べ物 フルーツ

活動内容

経済活動事務所と呼ばれる 日本の農協 JA のような組 織に配属になり、野菜の効 率的な栽培方法の提案・実 験、お米の栽培指導、養蜂 家同士のネットワーク作り を行い、農家の現金収入向 上を目的に持続可能な支援 を行いました。



現地農家の皆さんと

コメント

モザンビークは90%が農民で自給自足の生活を しています。しかし野菜のタネが身近になくアク セスが悪いため、タネの供給支援を行っていまし た。農協の同僚を巻き込み、種のお店を始めるこ とにしました。私は特に資金援助はしませんでし たが、サプライズでお店に私の名前をつけてくれ ました。お世話になったお礼とのことらしく嬉し かったです。



Venda de sementes

種屋さんの前で記念撮影

Kazuha 種屋さんの看板

My SDGs

8. 働きがいも経済成長も

持続可能な支援と雇用の創出ができたことがこ のKazuha種屋さんです。学んでも就職口がなく、

多くの人が職につけない状況です。 小さな一歩から経済成長に貢献でき るようなタネ屋さんになることを 祈っています。







名 前 山本晶子

出 身 韮崎市

隊 次 2017年度4次隊

派遣国 ネパール連邦民主共和国

職 種 PC インストラクター

配属先 スリ・ジャナ・ネトラ高等学校

好きな食べ物 ディンロ

(キビの粉を熱湯で練ったもの)

活動内容

現地の公立学校に配属され、村で中学生や先生たちに PC やプロジェクターの使い方の指導を行いました。また映像 授業を提供する団体のお手伝いも行い、生徒たちのマナー 改善にも注力しました。



配属先での授業の様子

コメント

首都からバスと徒歩で11 時間の山村が私の活動場所。現地の家で共に生活をしました。不便さや価値観の違いに悶々とした時期も多くありました。嫌なことも嬉しいことも与えてくれたのは現地の人でした。何人だからというのは関係ない、その人を見なければ!と再確認した2年間でした。写真は生徒たちとホームステイ先の家族です。





学校の生徒たちと

ホームステイ先の家族

My SDGs

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

都市部と地方、街と村、私立と公立学校で情報格差を 感じます。私が居たのは地方の村の公立学校でした。 停電も多く、インターネットも弱い、PC に触れる機会

もない。そんな環境でした。情報格差を縮める第一歩は PC で何ができるか、どのように使うかをわかるまで教えること。私は学ぶ機会を提供し共に歩むことを実践しました。





民間連携

フィリピン農家に笑顔をもたらす桑の葉茶

案件名:パンパンガ州における桑の葉茶 普及・実証事業



企業名 株式会社桑郷

http://www.kuwanosato.com/

所在地 市川三郷町 対象国 フィリピン共和国 実施期間 2019 年 2 月~

2021年10月



代表取締役社長韓成政氏 協力機関 パンパンガ国立農業大学(PSAU)

事業概要

市川三郷町で桑の葉茶の生産・加工・販売ビジネスを興し、地元経済の活性化に成功した株式会社桑郷が、フィリピンで現地の国立農業大学と協力し、桑の葉茶ビジネスの導入による農村の貧困削減を目指します。



現地の農民を対象とした製茶実習

コメント

『日本の知識と経験は世界を豊かにする!』 山梨で学んだ桑の知識と経験を活かして、フィリピンの農業に新しい風を起こします。やればできるという精神と、強くて優しい日本の心があれば、高い文化や考え方の壁を越え、お互いが成長する道が開けると思います!よっしゃ~!!



現地の製茶工場の準備状況



フィリピン国立農業大学における 桑の葉試験場の様子

My SDGs

1. 貧困をなくそう

山梨県市川三郷町で成功している桑の葉茶ビジネスをフィリピンのパンパンガ州に導入し、貧困に苦しむ現地の小規模農家が桑栽培により所得を向

上させ、貧困から脱却することを目 指します。



民間連携

山梨県発の技術でベトナムのゴミを減らす

案件名:ベトナム国建設廃棄物の安全で効率的な分別・選別処理システム による埋め立て処分量削減のための案件化調査

企業名 鈴健興業株式会社

http://www.suzuken8888.com/

所在地 笛吹市

対象国 ベトナム社会主義共和国

実施期間 2018 年 11 月~

2019年10月



協力機関 ホーチミン市天然資源環境局 (DONRE)

事業概要

建設廃棄物が大量に発生し 埋立処分場が溢れつつある ベトナムのホーチミク建設 廃棄物を分別・再利用して 埋立処分量を減らすたの 調査を行いました。2020年 から2022年まで予定して いる次の調査では、現地で の実証試験も行う予定です。



ホーチミンの建設廃棄物処理場の様子

コメント

当社は、2017年より技能実習生をベトナムより受入れていることから同国への進出を検討しました。数回に渡る事前調査で環境課題を抽出し、当社の特許技術を用いることで課題を解決できると判断し、この調査を実施しました。現地では廃棄物行政を所管する機関と協力し、廃棄物処理施設運用公社に当社の機材を導入する計画を立てました。またベトナムの関係者を日本に招聘し、両国の廃棄物処理に関する意見交換も行いました。





ベトナム側関係者来日時の様子

ベトナム側との打合せ

My SDGs

11. 住み続けられるまちづくりを

急激な発展が続くベトナムでは、建設 廃棄物の不法投棄による都市の環境破 壊が大きな問題です。日本企業の廃棄 物処理技術が、ベトナムの都市環境を 守るために役立ちます。





草の根技術協力

インドネシアで火山防災教育

案件名:活火山メラピ山西側山腹における火山監視 システムを活用した地域防災力向上プロジェクト



プロジェクトマネージャー 吉本 充宏 氏

団体名 山梨県富士山科学研究所

http://www.mfri.pref.yamanashi.jp

所在地 富士吉田市

対象国 インドネシア共和国

実施期間 2017年3月~

2020年3月

協力機関 NPO 法人火山防災推進機構 カウンターパート ガジャマダ大学



活火山メラピ山周辺では、 火山の正しい知識不足のため、噴火のたびに逃げ遅れによる犠牲者が出ました。 そのため、児童への火山防 災教育、教員への指導、地域コミュニティへの情報発信を通して火山の知識を普及し、地域の防災力を高めました。



防災教育の授業

コメント

年に1度、インドネシアの小学校の校長先生に山梨へ来ていただき、山梨の火山防災教育や防災について知って頂きました。富士河口湖町立勝山小学校を視察した際には、双方の教育関係者に加え防災関係機関も交えながら意見交換を行い、貴重な災害経験なども聞かせていただきました。事業を通じて山梨とインドネシアの懸け橋になることもできたと思います。



避難訓練の様子



勝山小学校での本邦研修

My SDGs

11. 住み続けられるまちづくりを

インドネシアは日本と同様の火山大国です。他の自然災害 と異なり、その発生頻度は低く火山現象は多様です。この ような災害特性を理解し、噴火しない長い期間は火山の恩

恵を享受しつつ、いざというときには適確 な被災回避行動するための知識を身につけ ることで安心安全に住み続けられるまちづ くりを目指しています。





教師海外研修

ブラジルで多文化共生と 移民について学ぶ



深澤歩未 甲州市立塩山中学校

研修国 ブラジル連邦共和国

研修期間 2019年8月4日~17日

実績報告 HP

https://www.jica.go.jp/yokohama/topics/2019/200305.html



「日本人は人間関係に悩みます。みなさんの 悩みは? と全ての訪問先で質問すると、 必ず答えの第一声は「なぜ人間関係に悩む の? |でした。研修中、日本だったら「あの 時の行動はよかっただろうか? | と過去を 振り返ってくよくよすることも、ブラジル では「きっと大丈夫!」と思えた自分がい たことに気がつきました。日本とブラジル のこの違いは何なのか?それを授業にした いと仲間と毎晩話し合いました。





実践授業のこと

教室で世界の縮図を体験できる授業をモットーに ワークショップを作成しました。長年共に過ごして きた仲間も小学校や家庭、育ってきた環境が違え ば、考え方も経験も異なるということを確認しまし た。そして、多文化が共生するためには「自分から発 信すること「違いを受け止めようとする姿勢が大 切」ということを学ぶことができました。「生物の多 様性は尊重されます。人間になると、生きにくさに 繋がることが有るのはなぜだろう? |と問いかけて 終了しました。





実践授業でのワークショップ

教室の中の多様性

My SDGs

4. 質の高い教育をみんなに

開発途上国だから、先進国だから、ではなく、すべての 人々が世の中の現状を知る権利を持っています。「私

たちが本当に知るべきこと、身に着け るべき力は何なのかしを見極めながら 毎日の授業をつくることが、私にでき ることだと信じています。





山梨で SDGs に取り組む人たち

SDGs ネットワークやまなし



SDGs については数年前からその趣 旨に賛同していました。様々な対立が ある国際社会において、その利害を超 え国際連合で SDGs が全会一致で採 択されたことは画期的なことです。地 球規模の課題ですが、地域でできるこ ともたくさんあると考え、この組織を 立ち上げました。SDGs の理解と啓発 活動、SDGs に取り組む組織等との連 携活動を行います。

取り組み

2019年12月に村木風海さ ん(19)を講師に地球温暖化 防止講演会を実施しました。 温暖化を食い止めるために二 酸化炭素回収マシーンを開発 し、75 億人全員を救うという 話に参加者 200 名が心を打 たれました。



二酸化炭素回収マシーンひやっしーを 披露する村木風海さん

八ヶ岳 SDGs スクール



https://www.facebook.com/yatsugatake.sdgs/



地方では少子高齢化と人口縮小によ り、地域の持続可能性が脅かされてい ます。また学校では「対話による学び 合い|や「SDGsの体験|等が時間的 制約の中で不充分な状況にあります。 そこで八ヶ岳 SDGs スクールは、持続 可能な地域社会の構築に寄与する活 動(SDGs の学び・共創的な対話)を 行うことを目的に、学習者主体の学び を支援する組織として設立しました。



取り組み

八ヶ岳から SDGs を普及させ、 持続可能な社会の構築に向け て何ができるのかを考える円 卓ミーティングを開催しまし た。「つながり」というキーワー ドのもと、SDGs を自分ごとに するためにどうすれば良いか を話し合いました。



円卓ミーティングの参加者



山梨で SDGs に取り組む人たち

公益財団法人 キープ協会

https://www.keep.or.jp/





1956年「食糧・保健・信仰・青年への希 望しの4つの理想を掲げ、モデル農村コ ミュニティー事業を開始。1980年代に 「環境教育・国際協力」の2つの理想を 加えました。環境・教育・健康・観光・国 際・地域をキーワードに、環境教育事業・ 研修交流事業・酪農事業・製造販売事業・ 保育園事業等幅広い事業を展開してい ます。



コメント

有機 JAS 認定の循環型自然放牧で酪農事業のもと、宿泊施設で は、「地産地消の味覚」にこだわり、自然再生エネルギーを活用し た施設運営です。「空間・食・体験プログラム」が一体となり、こ の地を訪れた全ての人が、自然と人、人と人が出会い、自己・他 者・社会・自然への「発見」の場となるよう取り組んでいます。





高冷地実験農場のシンボル ジャージー牛

体験プログラムの様子



JICA 研修受け入れ

日系社会研修では2006年から計 8名、環境教育をテーマに数ヶ月間 の研修を受け入れています。短期 では青年研修、草の根交流事業等 も行い、近年では2020年2月に 自然環境保全コースで中南米 7 か 国 13 名が研修を受講しました。



研修受け入れの様子

My SDGs

13. 気候変動に具体的な対策を

キープ協会では山梨県地球温暖化防止活動推 進センターの運営を担っており、「環境問題解 決のために自分で考え、行動できる人を育て る | ことを目標とし、八ヶ岳南麓の豊かな自然 を舞台として30年程前から環境教育を実践し ています。





JICA 山梨デスクは、

「地域の JICA 窓口」として、山梨県国際交流協会に配置されています。JICA 事業の広報や教育現場における開発教育の促進、自治体や団体との連携を行い、山梨と世界をつなぐ役割を果たすことを目的としています。



- ●出前講座、教員研修の実施
- ●イベントでのブース出展
- NPO との共催企画開催
- ●県内大学、大学生との連携
- JICA 海外協力隊帰国報告会開催
- ●国際交流協会との共催事業など

My SDGs

17. パートナーシップで目標を達成しよう

JICA 山梨デスクは県内の様々な人と 連携・協力し活動を行います。 また、山梨と世界をつなぐ役割を果たします。



JICA 山梨デスク連絡先

〒400-0035 山梨県甲府市飯田 2-2-3 (公財)山梨県国際交流協会内 TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 https://www.facebook.com/JICAyamanashi/E-mail∶jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp

















JICA はSDGs 達成に向け取り組んでいます



独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency

JICA 横浜

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1 045-663-3251 (代表)

JICA山梨デスク

〒400-0035 山梨県甲府市飯田 2-2-3 (公財) 山梨県国際交流協会内 055-228-5419 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp